



30th Anniversary Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554 E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org>

会長 半場慎一

幹事 引地正修

創立 : 1988年9月21日

「時代の潮流：人生100年と破壊的革新」

内閣府副大臣(経済財政政策・金融担当) 越智隆雄 氏

私たちは、“人口減少少子高齢化×相対的小国化”といった日本の構造的課題と、“グローバル化×デジタル化”といった世界の構造的変化にいかに対応するのか。政策のつくり手として、この課題をいかに捉え、どう解決しようとしているのか、現場の議論も交えてお話しします。

まず、これまでの5年半余りの政策を振り返ります。①アベノミクス3本の矢→②人口一億人→③一億総活躍社会→④働き方改革→⑤生産性革命→⑥人生100年時代、一年に一段階ずつ歩みを進めた“アベノミクス6段活用”の一貫するロジックは“経済と人の好循環”。一見わかりにくいそれぞれの政策を関連づけて説明します。

次に、“人生100年時代”を政策に掲げた理由に焦点を当てます。昨年9月に「ライフシフト」の著者、リンダ・グラットン教授を英国から招き、人づくり革命の検討を進めました。勉強→仕事→老後の“3ステージライフ”から、卒業した後は仕事と学習と諸活動を織り交ぜて人生を組み立てる“マルチステージライフ”へ。“全世代型社会保障”が完備した新しい社会のあり方の構想です。

さらに、“デジタル化”のグローバル規模の進展と近未来に想定される社会像について考えます。ディスラプティブ(破壊的)、エクスポネンシャル(指数関数的)と形容される急激な変化について、中国、エストニア、シリコンバレーといったデジタル化最前線を訪問した実感を含めてお話しします。

最後に、人生100年時代×デジタル化、この2つの変化を踏まえた、日本社会を再設計の方向性をお示しします。



越智 隆雄(おち たかお)

生年月日 1964年(昭和39年)2月27日 血液型 AB型

経歴

1986年3月：慶應義塾大学(経済)卒業

1991年6月：フランスESSEC経済商科大学院大学(経営)修了

2005年3月：東京大学大学院修士課程(日本政治外交史)修了

2012年12月：東京大学大学院博士課程(日本政治外交史)中退

主な職歴

1986年4月：住友銀行(現・三井住友銀行)入行(1999年退職)

1999年10月：衆議院議員秘書・国務大臣秘書官

2003年11月：第43回衆議院選挙(東京6区)惜敗

2005年9月：第44回衆議院選挙(東京6区)初当選

2009年8月：第45回衆議院選挙(東京6区)惜敗

2012年12月：第46回衆議院選挙(東京6区)当選 2期目

2014年9月：内閣府大臣政務官就任

(金融、行政・規制改革、女性活躍・少子化対策等担当)

2014年12月：第47回衆議院選挙(東京6区)当選 3期目

2016年8月：内閣府副大臣就任

2017年10月：第48回衆議院選挙(東京6区・比例)当選
4期目現在：内閣府副大臣(経済財政政策・金融担当)
(2016年8月～)

主な役職歴

自由民主党東京都第六選挙区支部長(2003年7月～)

自由民主党世田谷総支部長(2009年11月～2015年)

日本の未来研究所所長(2011年12月～2014年9月)

衆議院：議院運営委員会・議事進行係、財務金融委員会
理事、予算委員会委員、経済産業委員会委員自民党：国会対策副委員長、内閣部会長代理、財務金融
副部会長、経済産業副部会長、行政改革推進本部事務局長

選挙区：衆議院東京6区(世田谷区北西部)

当選回数：4回

所属政党：自由民主党(清和政策研究会)

第1397回例会 8月22日(水)

「時代の潮流：人生100年と破壊的革新」
内閣府副大臣(経済財政政策・金融担当)
越智隆雄氏(紹介者 半場慎一会員)

次回のプログラム

第1398回例会 9月5日(水)

「成長戦略と総裁選(仮)」

元内閣府副大臣 衆議院議員

平 将明 氏(紹介者 加藤和詳会員)